

## 環境配慮型農業実践塾 報告書

日時	令和2年4月23日（木）10:00～
場所	管内園地（水俣市袋及び芦北町湯浦、女島）
参加者	管内果樹農家等（水俣7名・芦北4名）
概要	<p>① 座学学習 新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、座学は行わず、オンラインによる園地視察のみ。</p> <p>② 園地視察 ・大澤さん園地（水俣市袋） 3年生、4年生の苗の確認。 春芽のうち残す芽の確認する。 防草シートがない部分を今後、準備する。</p>  <p>2年生の苗を購入。 虫が入らないようネットの中で育成中。 →下の土から何かしらの虫は入ってくる。 ここで、無農薬にこだわらず今は樹を大きくすることに専念する。 忌避剤としてキームを週に1回与える。また、酵素は2週間に1回与える。</p>



・ 杉本さん園地（水俣市袋）  
はるかの苗木の生育確認。  
5 cmの時、新芽を取っておく。  
1ヶ所から2つ以上出ている場合は、1つにする。  
残すのは上を向いている方。  
3年目の樹に実がなる予定。

前回、高継ぎしたレモンの樹を確認。



（右：前回の様子）

思ったほど、新芽が伸びていないので、巻いている紙を5 cmほど外す。  
現在、なっている実は8月ごろまで樹上で追熟して、実を太らせる。  
実がついていると花が咲かない。

→樹の勢いが弱まる。

ブドウ

実がなる気配あり。



・松本さん園地(水俣市月浦)

3年生の青島の苗木。

大きさにバラつきがある。防風林側が良く育っている。

甘夏の木を切り返し剪定したところ、次の枝に良い実がなっている。(良いお手本)



・中村さん園地(水俣市月浦)

デコポンの樹において、葉が黄色く変色している。

今、できることはないため、そのままにしておいて6月ごろの新芽の伸び方を見て判断する。

いくつか新しい苗を購入。

買ったままの状態ではなく、45cmの高さを目安に「めつぼ」の下で切っておく。

・松本さん園地(芦北町宮崎)

昨年、剪定した樹の花のつき方を確認。

例年、ここが一番遅いが、早く付いても良い実はない。

・柳田さん園地

シャインマスカットの樹は、そのままひたすら枝を伸ばす。



レモンはそろそろ収穫。



・中村さん園地

露地及びハウスのデコポンの樹を確認。

葉の変色もなく、花のつぼみがついていることを確認できた。

・石井さん園地（芦北町女島）

2月に剪定した場所の確認。

園主は、花のつき方が遅いことを気にしているが、この時期に付くのは「直花」がほとんどであるため、GW明けに付く花が良い。樹の状態は良好そうなので、今の状態をキープする。

天気予報では、4月24日までが寒いので、4月25日以降にハウスのビニールを取って外気を入れる。

急激な温度変化を抑えられると、花の開花がゆっくり進む。

→実が大きくなる

